

熊野商工会議所 中期活動指針

(平成 25 年 11 月～平成 28 年 10 月)

過疎化と少子高齢化の進行や長引く景気低迷を受け、商工会議所には、会員である商工業者への一層の経営支援や、活力ある地域経済と産業の発展に資する事業展開が求められています。会員事業所のニーズに的確に応えるとともに、将来を見据え、時代の変化を先取りした商工業の振興やまちづくりに取り組む必要があります。

そのため、商工会議所が会員事業所と共有する理念、共にめざす将来の姿・目標等を次のとおり定め、その実現に向けて、今後 3 年間、中期的に取り組む事業活動の指針とします。

1 **【基本理念】** ～商工会議所活動を進めるうえで大切にし、共有する基本的な考え方～
「会員・地域から信頼され、役に立つ商工会議所」

2 **【将来像】** ～私たちがめざす将来のまちの姿～
「地域産業の発展による活力とにぎわいが市民生活を豊かにしているまち」

3 取組の方向

(1) 「聖地熊野」の産業化

熊野の強み、特性である神々の故郷としての自然、歴史、文化を活かし、地域のすべての産業に聖地熊野をテーマとした付加価値をつけ、地域経済の活性化を図ります。

- ① 聖地熊野の自然・歴史・文化を背景とした“もの・サービス・体験”の開発・販売を促進します。
- ② 聖地熊野ブランド認証制度を創設し、徹底したPRと売り出しを行います。

(2) 会員事業所の経営支援の強化

会員であることの満足度を高めるサービスを提供します。

- ① 親切・ていねいで、迅速・的確な対応
- ② 会員への徹底した情報提供
- ③ 事業所訪問の拡充、地区懇談会開催によるコミュニケーションの深化
- ④ かゆいところに手が届く、きめ細かな提案型経営支援
- ⑤ 変化を先取りした経営支援

(3) 商工会議所の組織・財政基盤の強化

商工会議所本来の役割を更に果たすよう、組織・財政基盤を強化します。

- ① 会員加入の促進 目標組織率（管内商工業者数に対する会員の割合）70%
- ② 自主財源の確保
- ③ 効率的・効果的な予算執行